



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月11日

東

上場会社名 株式会社オークネット

上場取引所

コード番号 3964

URL <http://www.aucnet.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 藤崎 慎一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員CFO (氏名) 谷口 博樹 (TEL) 03(6440)2552

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	47,481	17.4	8,038	43.3	8,023	40.7	4,562	26.9
2024年12月期第3四半期	40,443	25.4	5,610	3.4	5,700	3.3	3,594	2.3

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 4,360百万円(15.1%) 2024年12月期第3四半期 3,789百万円(1.4%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2025年12月期第3四半期	99	87	99	85
2024年12月期第3四半期	75	59	75	37

(注) 当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	49,982	25,107	49.7
2024年12月期	44,040	26,166	58.8

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 24,862百万円 2024年12月期 25,898百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	円	円	円	円
	銭	銭	銭	銭	銭
2024年12月期	—	28.00	—	48.00	76.00
2025年12月期	—	22.00	—		
		(44.00)			
2025年12月期(予想)				33.00	55.00
				(66.00)	(110.00)

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 2. 当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2025年12月期の1株当たり配当金は、株式分割考慮後の金額を記載しております。なお、株式分割考慮前における2025年12月期の1株当たり配当金は、()内に記載しております。

(注) 3. 2025年12月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 28円00銭 記念配当 5円00銭

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,500	11.8	9,050	29.2	9,050	25.6	5,500	22.6	120.61

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 2. 当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2025年12月期の連結業績予想(通期)における1株当たり当期純利益については、株式分割考慮後の金額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 1社 (社名) AUCNET ASIA-PACIFIC PTE. LTD.

除外 1社 (社名) 株式会社デファクトスタンダード

(注) 株式会社デファクトスタンダードは、2025年7月1日付で当社連結子会社である株式会社ギャラリーレアを存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年12月期 3Q	49,526,400株	2024年12月期	49,526,400株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3Q	4,176,081株	2024年12月期	1,745,866株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年12月期 3Q	45,686,606株	2024年12月期 3Q	47,550,410株

(注) 当社は、2025年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 5の「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	9
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(連結範囲の重要な変更)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
(会計上の見積りの変更)	10
(セグメント情報等)	11
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	13
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結累計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

当社グループは、「価値あるモノを、地球規模で循環させる。～Circulation Engine.」をサステナビリティポリシーと掲げ、循環型マーケットの構築に取り組んでいます。市場に出た価値あるモノを停滞させることなく循環させる仕組みづくりに寄与し、持続可能な社会に貢献する企業として、社会的価値、経済的価値の更なる向上に努めております。

2025年2月に策定した、中期経営計画「Blue Print 2027」では、世界中のパートナーと共にサーキュラーエコノミーの未来を創造することを目指し、長期目標としてGCV 1兆円、中期定量目標として①EBITDA100億円、②ROE15-20%、③配当性向40%以上を掲げています。その達成に向け、安定した事業基盤のもと持続的成長を加速させ、次のステージに向けた更なる経営基盤の拡充を推進します。

このような計画に基づき、事業を推進した結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は47,481,147千円(前年同期比17.4%増)、営業利益は8,038,751千円(前年同期比43.3%増)、経常利益は8,023,085千円(前年同期比40.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,562,622千円(前年同期比26.9%増)となりました。

	2025年12月期 当第3四半期連結累計期間	前年同期比 増減率
売上高	47,481,147千円	+17.4%
営業利益	8,038,751千円	+43.3%
経常利益	8,023,085千円	+40.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,562,622千円	+26.9%

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(ライフスタイルプロダクツセグメント)

当セグメントは、デジタルプロダクツ事業及びファッションリセール事業で構成されています。

①デジタルプロダクツ事業

デジタルプロダクツ事業は、中古スマートフォン・中古PC等の中古デジタル機器のオークション及び消費者向けを含む流通に付随するサービスを展開しています。

国内サプライヤーとの連携や新規営業を強化したことにより、流通台数及び取扱高が増加しました。また、アクティブバイヤーへのアプローチを行いオークションの活性化に注力したほか、オペレーションの効率化を推進しました。

	2025年12月期 当第3四半期連結累計期間	前年同期比 増減率
取扱高 (百万円)	61,841	+65.0%
流通台数 (台)	1,989,560	+55.7%
会員数 (会員)	2,032	+1.3%

②ファッションリセール事業

ファッションリセール事業は、バッグ、時計、貴金属、衣類等の主にブランド品のオークション及び消費者向けを含む流通に付随するサービスを展開しています。なお、2024年12月期第2四半期連結会計期間の期首より、株式会社デファクトスタンダード及びJOYLAB株式会社を連結対象としており、2社の業績を含めています。

また、2025年7月1日付で、当社の連結子会社である株式会社ギャラリーレアを吸収合併存続会社、株式会社デファクトスタンダードを吸収合併消滅会社とする吸収合併を行いました。両社が保有するリソース・ノウハウ・チャンネルを統合し事業シナジーを最大化することを目的に、対等な合併ではありますが、手続き上株式会社ギャラリーレアを存続会社とし、合併後に株式会社サークラックスに商号変更しています。

BtoB事業では、市場の継続的な成長に加え、オークション参加会員の増加や在庫換金需要の高まりにより、出品点数及び成約点数が増加しました。また、広告宣伝等の実施や新規会員に対するサポート強化に伴い、会員数が増加したほ

か、商品化センターの安定稼働に向けたオペレーション体制の構築に注力しました。

C向け事業では、一部店舗の閉鎖や米国関税政策の影響により、取扱高は軟調に推移しました。一方で、広告宣伝等の実施に加え、グループシナジー強化を目的とした組織再編を推進しました。

		2025年12月期 当第3四半期連結累計期間	前年同期比 増減率
BtoB事業	取扱高 (百万円)	38,801	+2.8%
	出品点数 (点)	1,158,010	+26.6%
	成約点数 (点)	729,812	+19.4%
	会員数 (会員)	6,501	+16.3%
C向け事業	取扱高 (百万円)	13,817	+8.9%

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は33,332,061千円（前年同期比20.8%増）、営業利益は6,755,311千円（前年同期比54.1%増）となりました。

	2025年12月期 当第3四半期連結累計期間	前年同期比 増減率
売上高	33,332,061千円	+20.8%
営業利益	6,755,311千円	+54.1%

（モビリティ&エネルギーセグメント）

当セグメントは、オートモビル事業及びモーターサイクル事業で構成されています。

①オートモビル事業

オートモビル事業は、中古車オークション（※1）、共有在庫市場（※2）、ライブ中継オークション（※3）、落札代行サービス（※4）及び車両検査サービス（※5）等を展開しています。

当事業と関連の深い自動車業界では、当第3四半期連結累計期間の新車登録台数（※6）は、前年同期比5.0%増の346万台、中古車の登録台数（※7）は、同0.4%増の492万台、中古車オークション市場の出品台数（※8）は、同10.1%増の607万台、成約台数（※8）は、同5.1%増の414万台となりました。

中古車需要が継続して高く、落札代行サービス、ライブ中継オークション、自社主催オークションのいずれにおいても総成約/落札台数が増加したほか、平均成約単価が上昇したことにより取扱高が増加しました。また、新基幹システム「BASE」のリリースに伴う費用が第2四半期から継続して発生しました。

車両検査サービスでは、中古車情報誌認定検査の需要が高水準を維持したことにより、検査台数が継続して増加しました。

	2025年12月期 当第3四半期連結累計期間	前年同期比 増減率
取扱高 (百万円)	416,366	+9.8%
総成約/落札台数 (台)	418,443	+5.3%
会員数 (会員)	15,996	+4.0%
検査台数（※9） (台)	1,163,044	+13.3%

②モーターサイクル事業

モーターサイクル事業は、中古バイクオークション（※1）、共有在庫市場（※2）、落札代行サービス（※4）、車両検査サービス（※5）、レンタルサービス及び個人向けサブスクリプションサービスを展開しています。

主に国内大手販売店によるオークションへの出品台数及び総成約/落札台数が増加したほか、輸出業者の落札需要が継続して高く、平均成約単価が上昇した影響も相まって、取扱高は増加しました。

	2025年12月期 当第3四半期連結累計期間	前年同期比 増減率
取扱高 (百万円)	9,562	+20.3%
総成約/落札台数 (台)	25,128	+12.8%
会員数 (会員)	2,577	△1.0%

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は12,035,099千円（前年同期比10.6%増）、営業利益は2,865,926千円（前年同期比3.1%増）となりました。

	2025年12月期 当第3四半期連結累計期間	前年同期比 増減率
売上高	12,035,099千円	+10.6%
営業利益	2,865,926千円	+3.1%

- (※1) 中古車・中古バイクオークションとは、当社が主催するオンラインで行う会員制のリアルタイムの中古車・中古バイクオークションのことです。
- (※2) 共有在庫市場とは、当社の会員ネットワークを活用し、会員が所有する中古車・中古バイクの店頭在庫の情報を会員間で共有し取引する市場のことです。
- (※3) ライブ中継オークションとは、当社が業者間取引の市場である現車オークション会場と提携し、現車オークション会場が主催するオークションを中継するサービスのことです。
- (※4) 落札代行サービスとは、株式会社アイオークが業者間取引の市場である現車オークション会場等に出品される中古車・中古バイクの落札・出品・決済・輸送の代行を行うサービスのことです。
- (※5) 車両検査サービスとは、株式会社AISが出品車両の検査及び車両検査技能に関する研修を行うサービスのことです。
- (※6) 一般社団法人日本自動車販売協会連合会統計資料より
- (※7) 一般社団法人日本自動車販売協会連合会統計資料及び一般社団法人全国軽自動車協会連合会の統計資料より
- (※8) 2025年ユーストカー総合版+輸出相場版より
- (※9) 中古自動車及び中古バイク検査台数の合算値です。

(その他)

当事業は、アグリ事業及びサーキュラーコマース事業等で構成されています。

アグリ事業では、花きのオンラインオークションや現物市場の運営及び胡蝶蘭の生産・販売を行っています。サーキュラーコマース事業では、パートナーに対して二次流通事業の創造を支援するサービスを展開しています。

当第3四半期連結累計期間の売上高（セグメント間の内部売上高を含む。）は2,485,190千円（前年同期比12.3%増）、営業損失は227,120千円（前年同期は営業損失312,306千円）となりました。

	2025年12月期 当第3四半期連結累計期間	前年同期比 増減率
売上高	2,485,190千円	+12.3%
営業損失(△)	△227,120千円	-

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて5,941,473千円増加し、49,982,129千円となりました。これは主に、現金及び預金が5,096,211千円、オークション貸勘定が2,628,200千円、その他の無形固定資産が926,531千円増加したものの、のれんが1,122,670千円、棚卸資産が283,639千円、その他の流動資産が975,740千円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて7,000,558千円増加し、24,874,971千円となりました。これは主に、オークション借勘定が6,447,735千円、未払法人税等が303,685千円、その他の流動負債が362,081千円増加したものの、買掛金が110,514千円減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,059,084千円減少し、25,107,158千円となりました。これは主に、利益剰

余金が2,386,330千円増加したものの、自己株式の取得等により3,055,580千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期通期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2025年8月7日に公表いたしました数値を修正しております。詳細は、本日公表の「2025年12月期連結業績予想及び配当予想の修正（創業40周年記念配当を含む）に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,980,692	22,076,904
受取手形、売掛金及び契約資産	1,755,289	1,850,733
棚卸資産	4,377,881	4,094,241
オークション貸勘定	4,978,666	7,606,866
その他	5,537,661	4,561,920
貸倒引当金	△92,889	△141,712
流動資産合計	33,537,302	40,048,954
固定資産		
有形固定資産	1,805,596	1,847,237
無形固定資産		
のれん	1,345,391	222,720
その他	1,836,388	2,762,920
無形固定資産合計	3,181,779	2,985,641
投資その他の資産	5,515,977	5,100,296
固定資産合計	10,503,353	9,933,175
資産合計	44,040,655	49,982,129

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,044,057	933,542
オークション借勘定	9,340,069	15,787,804
未払法人税等	1,403,155	1,706,841
その他の引当金	480,478	405,677
その他	2,243,067	2,605,148
流動負債合計	14,510,828	21,439,014
固定負債		
退職給付に係る負債	1,916,230	1,927,521
株式給付引当金	171,605	202,247
その他	1,275,748	1,306,187
固定負債合計	3,363,584	3,435,956
負債合計	17,874,413	24,874,971
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,807,303	1,807,303
資本剰余金	4,491,088	4,433,513
利益剰余金	20,518,859	22,905,189
自己株式	△1,589,978	△4,645,558
株主資本合計	25,227,272	24,500,447
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	406,191	149,918
為替換算調整勘定	246,699	196,813
退職給付に係る調整累計額	18,806	15,367
その他の包括利益累計額合計	671,697	362,099
非支配株主持分	267,272	244,611
純資産合計	26,166,242	25,107,158
負債純資産合計	44,040,655	49,982,129

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	40,443,269	47,481,147
売上原価	23,511,103	26,932,476
売上総利益	16,932,165	20,548,670
販売費及び一般管理費	11,321,680	12,509,918
営業利益	5,610,485	8,038,751
営業外収益		
受取利息	4,768	26,696
受取配当金	56,316	74,862
持分法による投資利益	22,122	18,268
補助金収入	11,823	26,673
その他	22,404	82,218
営業外収益合計	117,435	228,718
営業外費用		
支払利息	1,582	180
為替差損	13,270	226,304
その他	12,292	17,900
営業外費用合計	27,145	244,385
経常利益	5,700,775	8,023,085
特別利益		
関係会社清算益	-	8,901
投資有価証券売却益	-	504,720
段階取得に係る差益	-	16,166
その他	18,897	291
特別利益合計	18,897	530,080
特別損失		
減損損失	-	986,200
固定資産除却損	2,888	2,539
その他	-	63,958
特別損失合計	2,888	1,052,698
税金等調整前四半期純利益	5,716,784	7,500,466
法人税等	2,037,471	2,830,685
四半期純利益	3,679,312	4,669,781
非支配株主に帰属する四半期純利益	84,809	107,158
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,594,503	4,562,622

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	3,679,312	4,669,781
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	116,211	△256,273
為替換算調整勘定	1,881	△49,885
退職給付に係る調整額	△8,279	△3,438
その他の包括利益合計	109,813	△309,597
四半期包括利益	3,789,126	4,360,183
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,704,317	4,253,024
非支配株主に係る四半期包括利益	84,809	107,158

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結範囲の重要な変更)

2025年7月1日付で、当社の連結子会社である株式会社ギャラリーレアを吸収合併存続会社、株式会社デファクトスタンダードを吸収合併消滅会社とする吸収合併を行ったため、連結の範囲から除外しております。

なお、存続会社である株式会社ギャラリーレアは、合併後に株式会社サークラックスに商号変更しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年2月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,430,000株の取得を行っております。この取得の結果、自己株式が3,533,530千円増加しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度については遡及適用後の第3四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(会計上の見積りの変更)

(無形固定資産の耐用年数の変更)

当社は、従来、バックオフィス業務に係るソフトウェアの耐用年数を5年としておりましたが、第2四半期連結会計期間にオートモビル事業のバックオフィス業務に係るソフトウェアの入替を実施したことを契機として、これまでの使用実績を踏まえ利用可能期間を見直しました。その結果、当第3四半期連結累計期間より、バックオフィス業務に係るソフトウェアの耐用年数を10年に変更しております。これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金調整前四半期純利益はそれぞれ67,143千円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	ライフスタイル プロダクツ	モビリティ& エネルギー	計				
売上高							
オークション関連収益	7,967,219	7,138,030	15,105,249	894,602	15,999,852	—	15,999,852
商品販売関連収益	19,529,916	376,211	19,906,127	492,709	20,398,836	—	20,398,836
その他	100,971	3,366,841	3,467,813	576,766	4,044,580	—	4,044,580
顧客との契約から 生じる収益	27,598,108	10,881,083	38,479,191	1,964,078	40,443,269	—	40,443,269
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	27,598,108	10,881,083	38,479,191	1,964,078	40,443,269	—	40,443,269
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	248,352	248,352	△248,352	—
計	27,598,108	10,881,083	38,479,191	2,212,431	40,691,622	△248,352	40,443,269
セグメント利益又は 損失(△)	4,382,737	2,781,087	7,163,824	△312,306	6,851,518	△1,241,033	5,610,485

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、花きのオークション、サーキュラーコマース事業及び海外事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,241,033千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

第2四半期連結会計期間において、株式会社デファクトスタンダード及びJOYLAB株式会社の全株式を取得し、同社を連結の範囲に含めたことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「ライフスタイルプロダクツ」のセグメント資産が4,990百万円増加しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ライフスタイルプロダクツ」セグメントにおいて、株式会社デファクトスタンダード及びJOYLAB株式会社を子会社化したことに伴い、同社を第2四半期連結会計期間から連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は1,344百万円であります。

なお、当該のれんの金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	ライフスタイル プロダクツ	モビリティ& エネルギー	計				
売上高							
オークション関連収益	11,684,531	7,735,972	19,420,503	845,222	20,265,726	—	20,265,726
商品販売関連収益	21,564,755	613,377	22,178,133	576,074	22,754,207	—	22,754,207
その他	82,775	3,685,749	3,768,524	692,687	4,461,212	—	4,461,212
顧客との契約から 生じる収益	33,332,061	12,035,099	45,367,161	2,113,985	47,481,147	—	47,481,147
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	33,332,061	12,035,099	45,367,161	2,113,985	47,481,147	—	47,481,147
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	371,205	371,205	△371,205	—
計	33,332,061	12,035,099	45,367,161	2,485,190	47,852,352	△371,205	47,481,147
セグメント利益又は 損失 (△)	6,755,311	2,865,926	9,621,237	△227,120	9,394,117	△1,355,365	8,038,751

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、花きのオークション、サーキュラ
ーコマース事業及び海外事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△1,355,365千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用
で、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ライフスタイルプロダクツ」セグメントにおいて、JOYLAB株式会社が保有する固定資産及び当該子会社に係る
のれんについて減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては978,050千円であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）、のれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	451,315千円	487,775千円
のれんの償却額	135,887 〃	170,086 〃

(重要な後発事象)

該当事項はありません。